



# 校長室だより

第 2 1 号

令和3年9月7日(火)

大崎市立沼部小学校

校長 吉田 浩之

## 主体的に学習に取り組む態度

9月になりました。新型コロナウイルスの感染拡大のため、宮城県にも緊急事態宣言が発令されています。本校でも感染拡大防止のため、対策を強化し、保護者の皆さまにもいろいろと御協力いただいております。本当にありがとうございます。もう少しの辛抱かな、と思っています。この状態をみんなで力を合わせ、乗り切っていきましょう。

今朝、校内テレビ放送での朝会がありました。1学期も残すところ1か月です。まとめの時期であり、2学期に向かうにあたり、主体的に学習に取り組む態度について話をしました。

(少し長くなってしまい、表裏両面になっています。御容赦ください。)

「自分から進んで学習に取り組もう」という話をします。

校長先生が、先生になって5年目くらいのことです。その時の教頭先生から「授業の前と後で子供は変わるんだよ。」と教えてもらいました。授業時間は45分です。45分という授業を通して、みんなはこれまで考えなかったことを考えたり、分からなかったことを分かたりすることができる。45分という時間はそれほど長いわけではありませんが、授業の持つ力を感じます。2年生以上の皆さんは、去年のことを思い出してみてください。コロナの影響で、4月5月は自分で勉強することが多かったですね。学校が再開して、友達の考えを聞いたり、自分の考えを話したりしながら、学校での授業を受けたことで、勉強がよく分かったと感じたお友達も多いことでしょう。

これからの学習では、先生から言われたことだけをするのではなくて、自分から学んでいこうという力が求められています。

6年生は夏休み中に、自主学習にしっかりと取り組みました。6年生教室前の廊下に自主学習ノートが並べてあるので、6年生の頑張りをぜひ見てください。さすが、ぬまっこのリーダーです。とても素晴らしいなあと思いました。



自分から学んでいこうという気持ちをもつことや、なかなかうまくいかなくても、粘り強く挑戦するんだという強い気持ちをもつこと、一つの方法でできなかつたら別の方法を考えて、試行錯誤しながら、自分の学習の進め方を考えて取り組んでいく、このような態度を「主体的に学習に取り組む態度」と言います。難しいね。自ら進んで学習に取り組み、「分かった!」「できた!」という喜びを味わってほしいという願いの下、沼部小学校の「ぬまっこ」の目標の中に「学びつつける子ども」を掲げています。

大切なことを三つお話ししましょう。

一つ目。「学ぶことに興味や関心をもつこと」です。誰にでも時間を忘れて熱中してしまうものが一つはあると思います。ゲームという人がいるかもしれませんが、ゲームは時間

を決めてやってください。小学校はこれから大人になって生きていくための基礎になる力を身に付ける場所です。だから得意な教科や苦手な教科を決めてしまって、学ぼうとすることをやめてしまうのではなく、学ぶことの楽しさを感じ取ってくれるとうれしいです。

二つ目。「見通しをもって粘り強く取り組む」ことです。「粘り強く」ということは分かりやすいと思います。もしかしたら、この「粘り強く」は、ぬまっこの弱いところかもしれません。まずは「粘り強く」を意識しましょう。あきらめずに続けてみましょう。4年生以上の方には「見通しをもって」ということも意識してほしいのです。例えば、国語の説明文の学習は何時間で学習するのか知っている人はいますか。理想的なことを言えば「この単元は〇時間で学習をしていくので、〇時間で何をやって、〇時間でまとめて、〇時間目には発表会をしたい」といった学習の計画を、先生と一緒に立てるような授業だといいなと、校長先生は思っています。計画通りにいかなかったときには、方法や時間を変えるなど学習を調整して学んでいく。このようにすることで、見通しをもって授業に臨む態度ができていくと思っています。

三つ目。「自分の学習活動を振り返って次につなげる」ことです。振り返りって大事なんだよ。振り返りの活動をしっかり行うことで、何が分かり、何ができるようになったのかを自分ではっきりさせることができたり、次の学習ではどのようにやっていこうかと、授業への構えとやる気も出てきたりします。

大切なこと三つ。繰り返しますね。「学ぶことに興味や関心をもつこと」「見通しをもって粘り強く取り組むこと」「自分の学習活動を振り返って次につなげること」

みんなが、「学ぶことって楽しい、もっとやってみたい、学んでよかった」という思いが持てる「学び」を先生方と一緒に創っていきましょう。

今日、校長先生は朝会でお話をするために、タブレットを使ってみました。タブレットが便利なのは分かるけど、思うように操作できるかなと不安でした。使ってみることも学びです。学ぶことに関心をもちました。やってみると楽しいということが分かりました。君たちもまずは「やってみよう！」という気持ちを大事にしてほしいなと思っています。

子供たちに話したように、今回は、タブレットを使って話してみました。私は、原稿なしでお話することが少し苦手です。普段使っているパソコンから、原稿のデータをタブレットに落とし込むには、どうしたらいいだろうと、いろいろ考えました。また、タブレットにインストールされているスライドの機能を使える方法はないだろうかということも考えました。きっと子供たちの方が、もっとスマートに使いこなせるのでしょよね。そんなことを思いながらも、思い立ったら「やってみよう」ということが大事だなと実感しました。

子供たちが主体的に学ぶことができるよう、教員も主体的に学ぶことを率先垂範していきたいと思います。

(先週の2日、3日は修学旅行の予定でした。6年生の保護者の皆さま、2日間のお弁当の準備ありがとうございました。11月末には、コロナも少しは落ち着いていることでしょう。)